

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

三重県海苔漁期前研修会

—8/29 松阪市・華王殿にて開催—



県漁連および三重県黒のり養殖研究会は、8月29日に華王殿(松阪市)にて、三重県海苔漁期前研修会を開催した。これから始まる漁期に向け、120人を超える海苔関係者が研修会に参加した。

講師には、海苔の専門誌「海苔ジャーナル」の発刊を手がける、海苔産業情報センター代表の藤井弘治氏、ならびに三重県水産研究所の岩出将英氏を招き、本県の黒ノリ養殖業を取り巻く現状、展望について講義をしていただいた。

近年のノリ養殖業の抱える問題は山積しており、「こだわりの海苔作り」だけを続けては経営が成り立たないという、漁業者の苦しい立場がある。

しかし、そのような中でも、生産、販売の両側面からの新たな取り組みについての数々が紹介なされ、ノリ養殖業が秘めた可能性を感じられる機会となった。

【みえの技+ (わざプラス) 海苔】

昨漁期、三重の海苔の差別化、PRの目的で、味にこだわった海苔の等級として「技+」が誕生した。選考委員によって「技+」等級の認定を受けた同製品は、共販において高値取引され、問屋から高い評価を受けた。



みえの技+海苔
パッケージデザイン
にもこだわりが♪

同研修会においては、「三重の技海苔師」認定授与式が行われ、認定証を受け取った松岡明広さんは「今漁期についても頑張ります」と意欲を覗かせた。

研修会後半では、若手海苔師による本気トークが行われた。コメンテーターとして、(株)兼宗代表取締役社長の武士垣外猛氏、(株)中野海苔常務取締役の中野智之氏を招き、ノリ養殖業のやりがいなどについて活発な意見が交わされた。ノリ養殖を支える若手たちの想いは熱く、これからの活躍が期待される。

「2013 年漁業センサス」の調査開始
理解と協力をお願い



農林水産省は、平成 25 年 11 月 1 日（流通加工調査は平成 26 年 1 月 1 日）に「2013 年漁業センサス」の調査を実施します。

この調査は、漁港の整備、漁場の保全や地方交付税の算出など、日本の水産行政施策の推進に活かされる重要な役割を担っており、海面漁業や海面養殖業を営む漁業者、ならびに関係施設や加工業を営む方々へ理解と協力を要するものとなります。調査員が伺いしましたら、ご協力をよろしくお願いします。

漁業センサスについて詳しく知りたい方はこちらまで！

東海農政局津地域センター
農政推進グループ経営構造・企画班
TEL:059-228-3155 FAX:059-228-7056
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/fc/>



漁業センサス

「内湾漁業のこれから」開催
—9/19 三重大学—

日本水産学会漁業懇話会は、標記懇話会を 9 月 19 日三重大学にて開催する。

閉鎖度が高く、人間生活の影響が甚大であるなどの理由から、漁業の低迷が顕著である東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海、大村湾を取り上げ、内湾漁業の実情と、取り組みや特異的話題を共有し、討論がなされる予定。参加費は無料であり、主催者は「ぜひ漁業者の人も積極参加を！」と幅広い参加を呼びかけている。

開催内容は以下のとおり。

- 13:00 開会
- 13:05～13:45 「大村湾漁業のカタログ」
- 13:45～14:15 「瀬戸内海東部における漁業と環境の現状」
- 14:15～14:45 「大阪湾の漁業日誌からみる漁業と環境の変化」
- 14:55～15:25 「伊勢湾の秘宝！前浜物」
- 15:25～15:55 「伊勢湾の小型底びき網漁業の現状と課題」
- 15:55～16:25 「東京湾の漁船漁業と浅海漁業の現状」
- 16:35～17:30 総合討論

お問合せはこちらまで！
鹿児島大学水産学部
漁業懇話会委員会
幹事 江幡恵吾
TEL：099-286-4231

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。